



音楽を指導する先生方を多角的に支援

～子どものために音楽教育はどうあるべきかを

共に考え、追求します～

教育学部児童教育学科 教授 古山 典子

キーワード

音楽教育, 授業研究, 教師教育, 音楽経験プログラム, 芸術文化振興

該当するSDGs

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

これまで、保幼小の音楽活動での教師・保育者と子どもたちの様子をありのままに捉え、そこに多層的に張り巡らされている意味の網の目を読み解いていくことを研究手法として、フィールドワークによる研究を行ってきました。また、同じ「芸術」として、美術との比較を通して、音楽と音楽教育(学校教育と専門教育)の独自性をそれぞれ相対化しながら、音楽科のあり方を考えてきました。

現在は、教師・保育者の音楽に対する価値観が音楽指導の礎となっている、との考えから、教師の価値観の様相とその変容過程について焦点をあてて研究しています。とくに教師自身の音楽を聴く力の重要性に着目し、小学校教師を対象とした鑑賞の音楽経験プログラムの実証的な研究に取り組んでいるところです。

そしてまた、音楽を教える教師の専門性について、教師の発言内容と視線、身体性、音響などの科学的なデータを多角的に組み合わせながら、解明しようとしています。

2 連携可能性のある研究分野, 又は、これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・教師を対象とした音楽経験プログラムの開催
- ・音楽授業や指導内容, また指導案・保育案に対する指導・助言
- ・音楽鑑賞または音楽づくりを中心とした音楽指導に関する講演
- ・音楽鑑賞または音楽づくりを中心としたワークショップの開催
- ・幼児・児童, 保護者を対象とした音楽イベントの企画・開催
- ・芸術文化振興に関する助言

これまでの連携実績

- ①教師を対象とした音楽鑑賞経験プログラムの実証研究, 音楽教師の価値観研究, 音楽教師の専門性に関する研究
- ②ふくやま芸術文化ホール事業運営委員
- ③福山市立小学校校内研修会講師, 法人立幼稚園研修会講師, 音楽鑑賞や主体的・協働的な学びに関するテーマによる講演, 地域の音楽文化振興のあり方に関するシンポジスト, 海外から講師を招いて教師を対象としたプログラミング教育・STEAM 教育ワークショップの開催